

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 如水館高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 723-0001
 広島県三原市深町1183

E-mail info@josuikan.ed.jp

Website http://www.josuikan.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 465 名 女子 276 名 合計 741 名
幼児・児童・生徒の年齢 15 歳 ～ 18 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として
記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

(記入例)

当校は、「○○○○○○」を学校理念 (※もしくは活動テーマ) として、
ESD を○○○○○○と捉え、ESD の実践を通して○○○○○○の力の育成を
目標とした。

具体的には、×××、△△△、○○○を柱に、①■■■■に係わる活動、②▼▼
に係わる教育、③△△に係わる学習、④●●に係わる学習を行った。

① ×××に係わる活動

○○
○○
○○
○○
○○

当校は、「言葉や文化を超えたコミュニケーション力をつけて、未来を切り拓く」ことを活動テーマとして、ESDの実践を通して、異文化を理解し合い、自分の考えを発表できるようになる力の育成を目標とした。

具体的には、①留学の準備に係わる活動、②留学中の活動、③留学後に係わる活動を行った。

①留学の準備に係わる活動

9か月間、ネイティブスピーカーとの授業を通じて、英語の実践的運用能力を高めた。また、留学に伴う申請（ビザ申請、ホームステイアプリケーション等）の作成を英語で行った。

②留学中の活動

ニュージーランドの家庭で12か月間ホームステイを行いながら、地元の高校へ通った。英語力とともに、異文化を理解する態度と実践力を磨き、コミュニケーション能力の育成に努めた。

③留学後に係わる活動

ニュージーランドで体験したことを全体の場で発表する機会を設け、自分の意見を発表した。

〈写真〉

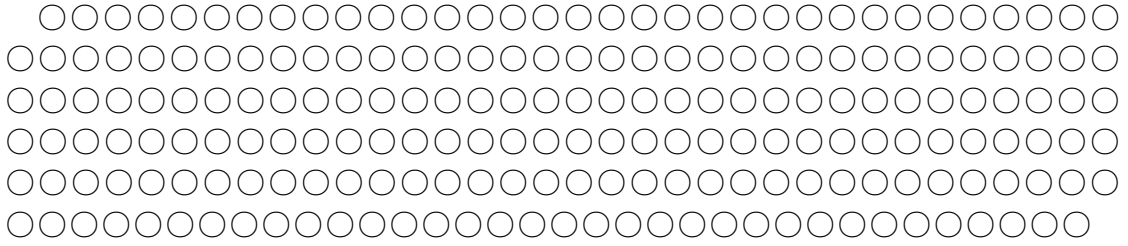
ホームステイ先にて



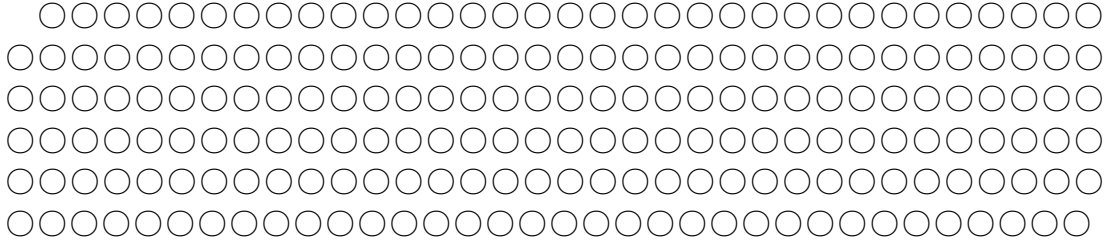
現地学校にて



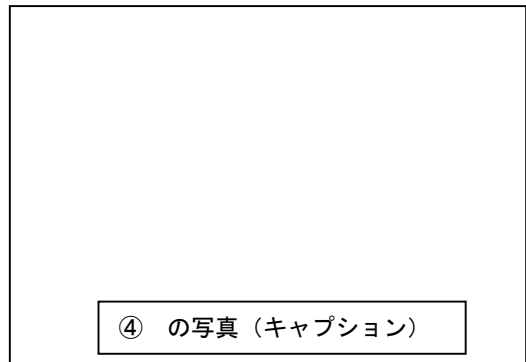
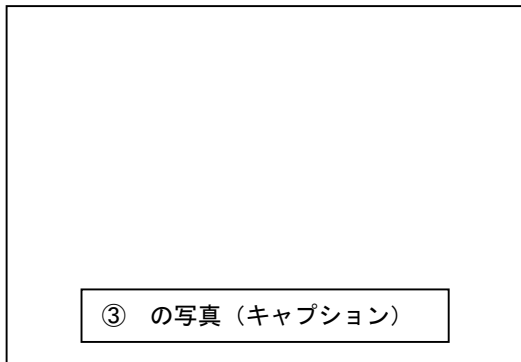
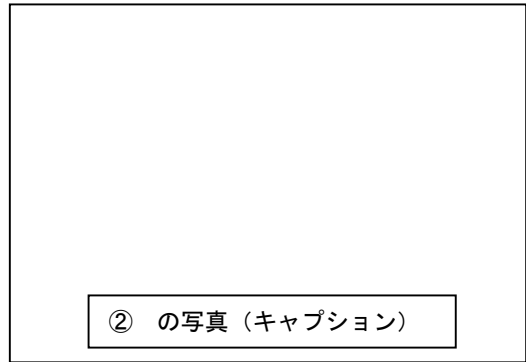
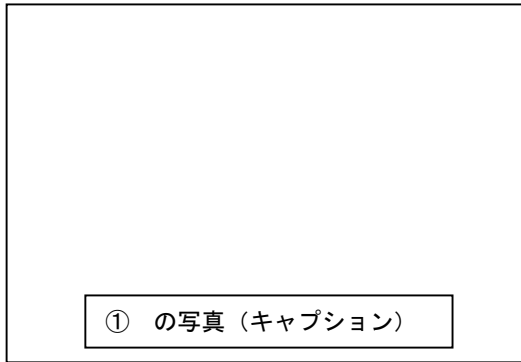
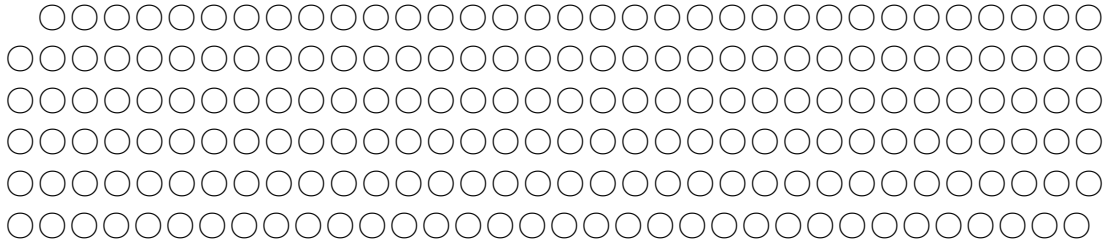
② ▼▼に係わる教育



③ △△に係わる学習



④ ●●に係わる学習



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

教科教科書

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

留学専攻として国際理解を深めるために活用している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

留学するまでの9ヶ月間は国際理解を深める準備期間としてネイティブスピーカーとの授業を取り組み、留学した後は実際に経験したことを基に発表することで学校として継続的に取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

留学先でサポートを行ってもらう方より生徒の生活を報告してもらうことで、生徒が国際理解に対しどのように取り組んだのか明らかになり、生徒の意欲向上にもつながった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

HP等を用いて情報発信を行っている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

本校の関連学校である三原国際外語学院(日本語学校)の学生と交流をした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

該当なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

留学専攻の3年間を通じた指導を工夫した。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 1) 1月～12月、ニュージーランドのハイスクールに派遣する。
- 2) 1月中旬～2週間、ニュージーランドで本校生徒対象にハイスクールプレパレーションを実施する。
- 3) ニュージーランドからインターナショナル担当教員来校。
- 4) 12月 三原外語学院との交流